



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シャルレ
 コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥平 和良
 (氏名) 岩永 信幸

TEL 078-792-8565

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	16,702	△6.0	656	△53.9	689	△52.5	360	△72.1
24年3月期第3四半期	17,762	△2.9	1,422	△28.7	1,451	△28.4	1,292	△35.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 561百万円 (△58.2%) 24年3月期第3四半期 1,342百万円 (△28.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	18.79	—
24年3月期第3四半期	67.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	23,712	19,652	82.9	1,025.39
24年3月期	23,999	19,665	81.9	1,026.07

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 19,652百万円 24年3月期 19,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,700	△5.3	1,070	△18.3	1,100	△18.4	680	△36.1	35.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	21,034,950 株	24年3月期	21,034,950 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,869,039 株	24年3月期	1,868,919 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	19,165,972 株	24年3月期3Q	19,282,258 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成24年11月29日に公表いたしました通期の業績予想は、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報等に基づくものであり、実際の業績等は様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く国内景気の低迷と、円高の長期化、欧州債務危機への警戒等による厳しい企業の経済環境に加え、増税や雇用不安といった消費者心理の冷え込みも重なる中、政権交代による政策期待感が広がり、年末には株価や為替に影響を与えたものの、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

このような環境のもと、当社企業グループは、国内レディースインナー等販売事業を中心に積極的に事業活動を行ってまいりましたが、当第3四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は167億2百万円（前年同四半期比6.0%減）、営業利益は6億56百万円（同53.9%減）、経常利益は6億89百万円（同52.5%減）となりました。四半期純利益は、関係会社株式売却損2億57百万円の発生等により3億60百万円（同72.1%減）となりました。

(国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、“毎日の暮らしに「心おどる感動」と「心やすらぐ安心」を。”を長期的なビジョンに掲げ、「美と健康のシャルレ」として、高い機能性と独自性のある商品の開発と提供に取り組んでまいりました。また、営業・販売面においては、新規顧客とビジネスメンバーの創造を戦略方針に掲げ、各種キャンペーン等を行ってまいりました。

商品面におきましては、10月に健康関連分野の商品として、着脱動作によって肩のまわりの筋肉を動かし、肩のストレッチ効果が期待できる「肩ストレッチインナー」（特許取得）を発売いたしました。また、10月～11月には、ウォーキング等の日常的な軽運動に適した商品「サポートウォーク」として、ウィンドブレーカー、ウォーキングシューズ等を発売、11月には、快眠をサポートする商品「すやすや」として、紳士・婦人用のナイトティとケープ等を発売し好評を得ました。

化粧品類におきましては、11月に基幹商品である「エタリテシリーズ」の基礎化粧品に、アボカド由来等のより保湿力を高める新成分を追加し、「エタリテ ラインII」としてローション、エッセンス、エッセンスクリーム3品番を追加発売いたしました。また、クレンジングオイルやウォッシングフォームの洗顔商品につきましても、使い心地を高めた改良を行い、リニューアル発売をいたしました。これらにより、既存のご愛用者の満足度を高めるとともに、新規顧客の拡大に努めました。しかし、商品別では売れ行きの差が大きく出てしまい、前年実績を上回ることができませんでした。

営業施策面におきましては、新規顧客の獲得支援策として、各種キャンペーンの実施や、新商品サンプルの配布等を行ってまいりました。また、9月～11月にはビジネスメンバーを対象とした「チャレンジコンテスト2012」を実施し、コンテスト期間におけるビジネスメンバーの活動支援策として、仕入実績に応じた新たなボーナス策の実施や、販促用商品の進呈などを行ってまいりました。

このように、積極的な事業展開を行ってまいりましたが、アウター類は全般的に好調でありましたが、ファンデーションや肌着・ショーツ類および化粧品類の定番商品の落ち込みにより、国内レディースインナー等販売事業の売上高は163億35百万円（前年同四半期比5.2%減）となり、営業利益は売上総利益率の低下により9億22百万円（同48.5%減）となりました。

(海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店での店舗販売を上海の旗艦店を中心に、12店舗で行ってまいりました。また、現地の消費者ニーズを反映した新商品の開発・販売、および現地販売スタッフの教育強化に積極的に取り組んでまいりました。

販売面では、各店舗による販促キャンペーンを積極的に実施いたしました。しかしながら一部店舗では軽微ながらも不買運動の影響もあり、客足が鈍るなどの反応を見せたことから売上高は計画を達成することができませんでした。

利益面では、店舗単位による利益率の向上に努めたものの、現地の本部経費等を吸収するまでには至りませんでした。

これらの結果、売上高は91百万円（同0.6%増）、営業損失は56百万円（前年同四半期は67百万円の営業損失）となりました。

(LED照明販売事業)

LED照明市場におきましては、省エネ志向の高まりや、電力供給不足の不安要因が社会的な問題となる中、省電力のLED照明器具の注目度はさらに増し、消費者からの需要も旺盛な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、節電効果の高い大規模施設等に対する積極的な営業活動を行いました。売上高は2億76百万円(同10.5%減)、利益面では、業務の効率化を推進したことで販管費が減少しましたが営業損失の解消には至らず、営業損失は89百万円(前年同四半期は2億18百万円の営業損失)となりました。

なお、当社は平成24年12月3日付にて、LED照明販売事業を営んでおりました株式会社シャルレライテック(100%出資子会社)の全株式を譲渡し、同事業から撤退いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、現金及び預金の減少9億16百万円、有価証券の増加4億1百万円、商品の増加2億29百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億86百万円減少して237億12百万円となりました。

負債は、未払金の減少5億18百万円、賞与引当金の減少2億73百万円、支払手形及び買掛金の増加2億66百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億73百万円減少して40億60百万円となりました。

純資産は、四半期純利益3億60百万円、利益配当金5億74百万円等により、前連結会計年度末と比較して13百万円減少し、196億52百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.9%から82.9%に上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、ファンデーションや、肌着・ショーツ類、化粧品類等の定番商品の売上高の減少が今後も想定され、また、売上高減少に伴い在庫評価損の増加も見込まれるため、平成24年11月29日に公表しました業績予想を修正いたします。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	21,900	1,300	1,330	910
今回発表予想(B)	21,700	1,070	1,100	680
増減額(B-A)	△200	△230	△230	△230
増減率(%)	△0.9	△17.7	△17.3	△25.3

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法について定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、減価償却方法の見直しの検討を行ってきた結果、当社においては、長期的かつ安定的に使用される資産が大部分を占めていることから、定額法が固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社の実態をより適切に反映すると判断したため行ったものであります。

この変更により、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ86百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,661	7,744
受取手形及び売掛金	190	116
有価証券	2,408	2,809
商品	4,358	4,588
貯蔵品	68	35
繰延税金資産	549	549
その他	294	379
貸倒引当金	△8	△11
流動資産合計	16,522	16,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,575	1,331
土地	907	907
その他（純額）	296	562
有形固定資産合計	2,780	2,801
無形固定資産		
その他	514	615
無形固定資産合計	514	615
投資その他の資産		
投資有価証券	2,216	2,414
前払年金費用	830	745
繰延税金資産	387	387
その他	760	549
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	4,182	4,084
固定資産合計	7,476	7,500
資産合計	23,999	23,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829	1,096
未払金	1,836	1,317
未払法人税等	20	32
賞与引当金	381	108
その他	180	348
流動負債合計	3,247	2,902
固定負債		
売上割戻引当金	213	214
退職給付引当金	496	486
長期未払金	376	204
その他	—	251
固定負債合計	1,086	1,157
負債合計	4,333	4,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,945	12,730
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	20,148	19,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△415	△214
為替換算調整勘定	△67	△66
その他の包括利益累計額合計	△483	△281
純資産合計	19,665	19,652
負債純資産合計	23,999	23,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	17,762	16,702
売上原価	8,798	8,938
売上総利益	8,964	7,764
販売費及び一般管理費	7,542	7,107
営業利益	1,422	656
営業外収益		
受取利息	20	24
受取配当金	1	1
雑収入	20	17
営業外収益合計	41	42
営業外費用		
支払利息	0	3
持分法による投資損失	2	4
為替差損	7	—
社宅解約損	1	1
雑損失	0	0
営業外費用合計	13	10
経常利益	1,451	689
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
退職給付制度改定益	12	—
特別利益合計	12	1
特別損失		
固定資産除却損	13	5
投資有価証券評価損	—	0
関係会社株式売却損	—	257
関係会社出資金売却損	—	57
災害による損失	86	—
特別損失合計	99	321
税金等調整前四半期純利益	1,364	369
法人税、住民税及び事業税	10	9
法人税等調整額	62	—
法人税等合計	72	9
少数株主損益調整前四半期純利益	1,292	360
四半期純利益	1,292	360

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,292	360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	201
為替換算調整勘定	△9	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	0
その他の包括利益合計	50	201
四半期包括利益	1,342	561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,342	561
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内レ ディース インナー 等 販売事業	海外レ ディース インナー 等 販売事業	LED 照明販売 事業	情報サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,229	90	308	134	17,762	—	17,762	—	17,762
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15	—	—	—	15	—	15	△15	—
計	17,245	90	308	134	17,778	—	17,778	△15	17,762
セグメント利益又 は損失 (△)	1,790	△67	△218	△15	1,487	△0	1,487	△65	1,422

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業整理中の事業に係るものであります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額にはセグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用66百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内レディース スインナー等 販売事業	海外レディース スインナー等 販売事業	LED照明 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,335	91	276	16,702	—	16,702
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18	—	—	18	△18	—
計	16,354	91	276	16,721	△18	16,702
セグメント利益又は 損失 (△)	922	△56	△89	776	△120	656

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用120百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、「LED照明販売事業」を営む連結子会社の全株式を譲渡したことにより、「LED照明販売事業」の資産はなくなりました。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「情報サービス事業」を廃止しております。

これは、情報サービス事業を営む株式会社エヌ・エル・シー コーポレーションを平成24年3月30日付で外部に譲渡したことによるものであります。

これにより、第1四半期連結会計期間より「国内レディーススインナー等販売事業」、「海外レディーススインナー等販売事業」、「LED照明販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

(減価償却方法の変更)

会計方針の変更に記載のとおり、当社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法について、定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、減価償却方法の見直しの検討を行ってきた結果、当社においては、長期的かつ安定的に使用される資産が大部分を占めていることから、定額法が固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社の実態をより適切に反映すると判断したため行ったものであります。

この変更により、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「国内レディーススインナー等販売事業」で86百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。